

いちかわ

ichikawa

市川市
住民基本台帳人口
(4月30日現在)
▶492,836人
男 249,031人
女 243,805人
255,503世帯

2023年(令和5年)
毎月第1・第3土曜日発行

6月17日

No.1714

世界とつながる交流の輪

本市では、2022年に姉妹都市締結60周年を迎えたガーデナ市をはじめ、
5つの都市と親交を深めてきました。
今年は、コロナ禍で見送りとなっていた海外都市への訪問を、4年ぶりに再開します。

☎712-8590国際交流課

パートナーシティ

ローゼンハイム市
(ドイツ連邦共和国バイエルン州)

人口 約6万人(2004年7月締結)

交流分野:教育・スポーツ・文化の分野における青少年交流

姉妹都市

ガーデナ市
(アメリカ合衆国カリフォルニア州)

人口 約5万9千人(1962年11月締結)

締結のきっかけ:共に大都市(東京とロサンゼルス)に隣接しているなどの共通点。

パートナーシティ

イッシー・レ・ムリノー市
(フランス共和国
イル・ド・フランス地域圏)

人口 約6万5千人(2012年10月締結)

交流分野:ICT施策、花と緑の街施策、文化・芸術

姉妹都市

メダン市
(インドネシア共和国北スマトラ州)

人口 約211万人(1989年11月締結)

締結のきっかけ:締結前の1984年より市民による親善訪問によって交流を深めてきたこと。

パートナーシティとは

姉妹都市や友好都市のようなあらゆる分野の交流ではなく、特定分野に限定した交流を推進する都市締結のこと。

友好都市

樂山市
(中華人民共和国四川省)

人口 約350万人(1981年10月締結)

締結のきっかけ:日本と中国との架け橋として活躍した郭沫若氏が須和田に暮らしていたこと。

姉妹・友好都市とは

文化交流や親善を目的として、結びつきをもつ都市と都市のこと。

Contents

2 | 市内に広がる「国際化」

3 | いちかわ市民まつり 参加申込説明会

6 | 市川にこうご期待

4 | 雨水貯留・浸透施設の設置を助成します

7 | 健康スポーツ教室(ISG塩浜)参加者募集

5 | 市川市民納涼花火大会

8 | Aruco測定コーナーをご活用ください

市内に広がる『国際化』

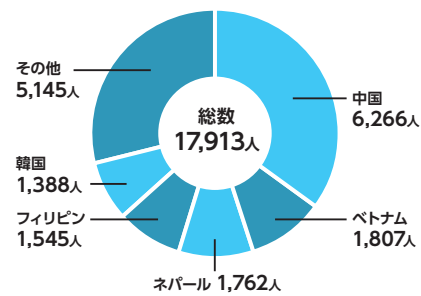
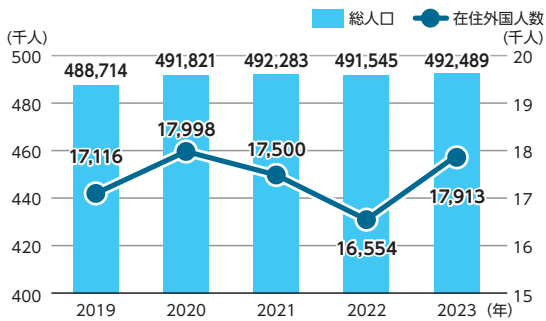
動画(右記2次元コード参照)でも国際交流を紹介しています



外国籍の方はとても身近な存在

本市には、112カ国・17,913人(2023年3月末現在)の外国籍の方が暮らしています。人口の3.6%を占め、28人に1人が外国籍の方です。
また、法務省の在留外国人統計(2022年6月末時点)によると、全国市区町村の中で、本市は33番目に外国籍の方が多い市です。

●本市の総人口と在住外国人数(2023年3月末現在) ●国籍別人口(2023年3月末現在)



多文化共生社会の実現に向けて

多文化共生社会とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きることを言います。
地域に暮らす日本人と外国籍の方が生活者の一員として共に認め合い、協働することが、地域社会の活性化や安心して暮らすことのできるまちづくりにつながります。

国際理解を育む機会

多文化共生出前講座

多文化共生について知るため、市内に居住する外国にルーツを持つ方から母国の文化や日本との違いなどについて学ぶ講座を、市立小学校で行います。子どものうちから多文化に触れ合う環境をつくりまします。



▲過去に実施した「食を通して外国文化を学ぶ」講座

国際交流ラウンジ



国際交流ラウンジ

外国籍の方へ向けて生活情報の提供やイベント・講座などを開催する他、住民の交流の場として利用できる場所です。イベント情報など、詳しくはお問い合わせください。

場 いちかわ観光物産インフォメーション3階(八幡2-4-8)
時 午前10時～午後4時(休館日:木・日曜日、祝日、年末年始)
問 ☎332-0100市川市国際交流協会

国際交流の場

在住外国人の方への支援

外国人相談窓口(第1庁舎と行徳支所)

在住外国人のインフォメーションセンターとして、日々の生活や市の行政手続きについての情報案内など、いろいろな相談に応じます。

【対応言語】

17言語(英語・中国語・スペイン語・韓国語・ポルトガル語・フィリピン語・ベトナム語・タイ語・ウクライナ語・ロシア語・フランス語・ネパール語・ヒンディー語・インドネシア語・マレー語・ミャンマー語・クメール語)

日本語ボランティア教室

日本語学習の支援をはじめ、日本の文化や習慣に触れる機会をつくることで、地域の外国籍の方がより良い生活を送ることができるようにサポートしています。詳しくは市川市国際交流協会のWebサイト(右記2次元コード参照)で確認できます。



やさしい日本語や外国語で市の情報をお届けします。 ●市公式LINEアカウントによる情報配信について▶



●外国語での情報案内▶



姉妹都市締結60周年 ガーデナ市

2022年11月に姉妹都市締結60周年を迎えたことを記念して、両市の公式代表団及び市民親善訪問団の相互交流を行います。

交流の内容

7月 :ガーデナ市への訪問(記念事業や市民交流イベントへの参加)
11月(予定) :本市への受け入れ(市内で記念事業や交流イベントを行います)

ガーデナ市との交流の足あと

地元商店会の取り組みなどもあり、特に妙典駅周辺で多く確認できます。

●白妙公園

(東京メトロ東西線妙典駅徒歩1分)

公園のシンボル「ガーデナツリー」や記念樹、ガーデナ広場などがあり、地域の方々に親しまれています。



ガーデナツリー▶

●カリフォルニアロード

(地域のシンボルロード、♀富浜2丁目すぐ・♀末広から徒歩2分)

通りの両端にやしの木のシンボルがついたサインポールが並びます。高さのある水色のサインポールは目を引きまします。周辺には、他にもガーデナ市にちなんだガーデナアベニュー、サンセットストリートなど合計6本のシンボルロードがあります。やしの木がシンボルのサインポール▶

1987年にガーデナ市長から地元商店会に道路標識が寄贈されたことから命名



動物親善大使の紹介



楽山市からやって来たシセンレッサーパンダ

1986年にやって来た「真真」と「誠誠」。子孫は70頭以上誕生し、全国の動物園で活躍しています。

メダン市からやって来たスマトラオランウータン

1992年にやって来た「スーミー」と「イーバン」。ウータン、リリー、ポポの3頭の子どもが誕生しました。



スーミー(左)とイーバン(右)

お知らせ

スーミー(メス・推定35歳)は今年4月29日に亡くなりました。今までスーミーを温かく見守ってください、本当にありがとうございました。

☎338-1960動植物園